

千葉県競技力向上推進本部 トップアスリート等活用事業!

千葉県競技力向上推進本部では、千葉県の競技力向上と地域スポーツが互いに影響し合い良好な関係を築くために、各団体の活動(技術指導や体験談講話など)に、オリンピック・パラリンピック選手やプロスポーツ選手、国民体育大会(国民スポーツ大会)等で活躍したトップアスリートを講師として派遣する「トップアスリート等活用事業」を行っています(講師の報償費や保険料は、推進本部事務局が負担します)。

詳しくはホームページをご覧ください。



▲コンディショニングの学習をする選手たち



▲選手と一緒に車いすラグビーを体験



▲シッティングバレーでスパイク練習



▲選手と一緒にサッカーを体験

令和6年度トップアスリート等活用事業のページはこちら▶



競技スポーツ振興課 ☎043-223-4104

千葉県 トップアスリート活用

検索

サーフィン選手・フェンシング選手による学校訪問について

東京2020オリンピック競技大会において県内で開催された競技の理解促進や競技人口の増加、スポーツの価値の発信を図るため、サーフィン、フェンシングについて、それぞれ(一社)日本サーフィン連盟、(公社)日本フェンシング協会と協定を締結し、学校訪問を実施しています。

●サーフィン学校訪問

主に長生地域の小学生を対象に、学校のプールを活用したサーフィン体験会を実施しています。プロサーファーなどが講師となり、スタンディングなどを体験します。水の上でボードに立つ喜びや達成感を味わえます。令和6年度は地域を拡大し、県内10校の小中学校で実施予定です。



▲スタンディング体験

●フェンシング学校訪問

オリンピック選手等が講師として小中学校を訪問し、フェンシングの魅力や面白さを体感できるよう、競技紹介や体験会を実施しています。講師から、オリンピック出場の経験や競技を通じて得られたことなどが語られ、児童・生徒から「貴重な体験だった」など好評をいただいています。令和6年度は、県内5校の小中学校で実施予定です。



▲スマートフェンシング体験

そのほかにも、千葉県は日本オリンピック委員会と協定を結び、公立中学校において中学2年生を対象としたJOCオリンピック教室(オリンピック選手が自身のさまざまな経験を通して、オリンピックの価値等を伝える授業)を実施しています。令和6年度は6校で実施予定です。

生涯スポーツ振興課 ☎043-223-2449